

らいぶらいいにゅーす2018 No. 4



◎ もうすぐ夏休み ☀

梅雨が明け、日差しや熱気が一段と強くなり、季節はすっかり夏になりました。急な気温の変化で体調を崩したりしていませんか？疲れた時は一度、涼しい部屋で本を読んでゆっくり休んでみてはいかがでしょうか？そんな夏に読んでほしい本を今月も紹介していきたいと思います。

◎ 夏に読んでほしい！図書委員おすすめの本

今月は 2年の図書委員 にそれぞれおすすめの本を紹介してもらいました。以下、紹介されている本は全てこの学校の図書館にも置いてある本なので、気になった本があればぜひ読みに来てください。



「暗黒女子」秋吉理香子／双葉文庫

「名門女子校で最も美しくカリスマ性のある女生徒いつみが死んだ」——この1行で「なんで死んだのだろう、誰に殺されたのだろう」と思った。本来、私はミス터리系は難しいのであまり読まない。だが、この本は「面白そう」と思った。読み進めていくと1人1人の物語が作文風になっている。つまり、話によって一人称が変わる。他の小説には無い点だ。1人1人の証言（物語）は思いがけない方向へと進んでいく。いつみの死は“事故死”なのか“他殺”なのか“自殺”なのか…一体なぜあんな“モノ”を持っていたのか…。すべての予想を裏切る黒い結末まで一気に読み必至の衝撃作。

「先生。わたしたち、どうして学校に行かないといけないの？」

「雨の降る日は学校に行かない」相沢沙呼／集英社

おすすめしたい理由等：この本が今の自分にあてはまっていると思って読みやすかったからです。とくに、『死にたいノート』がすきです。主人公が手帳に本当に死ぬことを想像して遺書を書く場面が印象的です。なにに悩んでいてなにが辛いのがわからなくてただただその辛い思いをそのノートに書き綴る。主人公は死ぬための理由をさがしている。私はこの本をよんですこしくなった気持ちになりました。誰かが私と同じ気持ちでいるかも。と思うだけですこしくなりました。だからこの本をオススメにして誰かに共感してほしいです。



《 文化祭で展示していた壁新聞は9月頃まで展示する予定なのでぜひ見に来てください 》

ホラー特集

* 背筋も凍るほどの怖さを、小説を通じて体験。夏の暑さを吹き飛ばそう！ *

「ホーンテッド・キャンパス」 榎木理宇／角川ホラー文庫

八神森司は、幽霊なんて見たくもないのに、「視えてしまう」体質の大学生。片想いの美少女こよみのために、いやいやながらオカルト研究会に入ることに。ある日、オカ研に悩める男が現れた。その悩みとは、「部屋の壁に浮き出た女の顔の染みが、引っ越しても追ってくる」というもので……。次々もたらされる怪奇現象のお悩みに、個性的なオカ研メンバーが大活躍。第19回日本ホラー小説大賞・読者賞受賞のオカルトミステリ！



「殺人鬼」 綾辻行人／新潮文庫

夏季合宿のため双葉山を訪ねた親睦団体<TCメンバーズ>の一行。人里離れた山中での楽しいサマーキャンプは、突如出現した殺人鬼によって、阿鼻叫喚の地獄と化した。次々と殺されてゆく仲間たち……手足が切断され、眼球が抉りだされ、生首は宙を舞う！血塗れの殺戮はいつまで続くのか？殺人鬼の正体は？驚愕の大トリックが仕掛けられた、史上初の新本格スプラッタ・ホラー。

「ZOO」 乙一／集英社

毎日届く恋人の腐乱死体の写真。彼女を殺したのは誰？「犯人探し」に奔走する男を描く表題作や、父の世界では母は死に、母の世界では父は死んでいるせいで、両親がお互いのことを認識できなくなった世界で、二人ともが見えている“僕”が父と母の世界をつなぎとめようとする「SO-far そ・ふぁー」、姉と窓もない四角形の部屋に閉じ込められた僕が、部屋にあった幅50cmほどの溝を使って移動し、他にも閉じ込められている人を見つける「SEVEN ROOMS」など、書き下ろし作品を含む全10編を収録。



◎新刊情報 ～ 図書を購入を開始しました！ ～

タイトル	著者名	出版社
あさひなぐ 25・26	こざき 亜衣	小学館
亜人 12	桜井 画門	アフタヌーンKC
ロードアート・オライヴ プログラミング 006	川原 礫	電撃文庫
からくりピエロ	40mP	角川ビーンズ文庫
青くて痛くて脆い	住野 よる	KADOKAWA
いつかすべてが君の力になる	梶 裕貴	河出書房新社



and more...

返却期限が9月となる夏季特別貸出が始まりました！

この機会に本を借りて夏休みにたくさん本を読んでください！